

3. 残薬調整

薬歴上継続処方されている処方薬に残薬があるため、投与日数を短縮して調剤すること。(外用剤の本数の変更も含む)

例：バイアスピリン錠 100m g 30 日分→25 日分 (5 日分残薬があるため)
サンコバ点眼液 3 本 →1 本 (2 本残薬があるため)

※処方日数を延長する場合には合意範囲外とする。

4. ビスホスホネート製剤の処方日数適正化

週 1 回あるいは月 1 回の製剤が連日投与、他の処方薬と同一の日数で処方されている場合の処方日数の適正化すること。

例：(他の処方薬が 14 日分の処方の時)

ボナロン経口ゼリー35m g 1 包 分 1 起床時 14 日分 →2 日分

例：(他の処方薬が 56 日分の処方の時)

ボナロン経口ゼリー35m g 1 包 分 1 起床時 7 日分 →8 日分

※必ず残薬の有無を確認の上、実施してください。

5. 外用薬の使用部位

外用剤の用法(適用回数、適用部位、適用タイミング等)が口頭で指示されている場合(処方せん上、用法指示が空白あるいは「医師の指示通り」が選択されている)に用法を追記すること。

【薬歴上または患者面談上用法が明確かつ用法に疑義が生じない場合】

例：口頭で腰痛時に貼付するよう指示があったと患者から聴取した場合
ケトプロフェンテープ 20m g 3 袋 1 日 1 回貼付 →1 日 1 回腰に貼付

- ◆ 変更後は「トレーシングレポート」などによる情報のフィードバックを Fax でお願いします。

トレーシングレポートの書式は自由ですが、当院薬剤部 HP 内にもございますので、必要に応じてお使いください。

- ◆ 薬剤部の情報は当薬剤部ホームページ「保険薬局の方へ」をご覧ください。
随時情報公開していきますので適宜ご活用下さい。

- ◆ その他のお問い合わせは薬剤部調剤室にご連絡下さい。
お問い合わせ先：055-273-1111（大代表）薬剤部調剤室（3197・3198）
FAX 送信先 ：055-273-6672

- ◆ 新規合意に関するお問い合わせは下記までお願いします。
お問い合わせ先：055-273-1111（大代表）
薬剤部薬務室 担当 榎山 富美（4944）
Email：fkashiyama@yamanashi.ac.jp

令和4年12月7日(第1版)